

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第39報 ～

**NEW** 2004年1月からピコ植物プランクトン情報を追加しました。

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成16年1月5日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、先週に引き続き淡水赤潮の原因となるウログレナが優占種であり、過去7回連続している。動物プランクトンは、ハネウデワムシが最も多かった。ハネウデワムシは、毎年この時期に増加する種類である。今回(2004年1月)からピコ植物プランクトン情報も追加しました。例年に比べると今回のピコ植物プランクトン数は、少ない細胞数であった。今後の増減が注目されます。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	320

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	130

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成16年1月5日

第39報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	600		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	27		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas fastigata</i>	20		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	7		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	15		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	50		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	240		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(み) <i>Euglena</i> sp.	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	92		
(緑) <i>Scenedesmus grahneisii</i>	20		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	3		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	677	52.3	29.5
(珪) 珪藻綱	102	7.9	6.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.8	14.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	360	27.8	31.9
(み) みどり虫藻綱	10	0.8	7.2
(緑) 緑藻綱	135	10.4	10.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1294		
種 類 数	20	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	1.34E+06

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は \*が第1優占種、 \*が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	1月5日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	7,100

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 $\mu\text{m}$ (1 $\mu\text{m}$ は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、観察するためには落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。